

第3回 県立高等学校改革懇談会 『梁川・保原』



日時：令和2年7月13日（月） 14：00～15：00
場所：保原高等学校

福島県教育委員会

本日の進め方

1	第2回改革懇談会でいただいた御意見を踏まえた 梁川・保原統合校の方向性について
2	統合校の魅力を周知する方法について

梁川・保原統合高校

梁 川 高 校

定員80名

○ 普通科(2学級)

保 原 高 校

定員200名

○ 普通科(4学級) ○ 商業科(1学級)

2023年(令和5年)4月開校予定

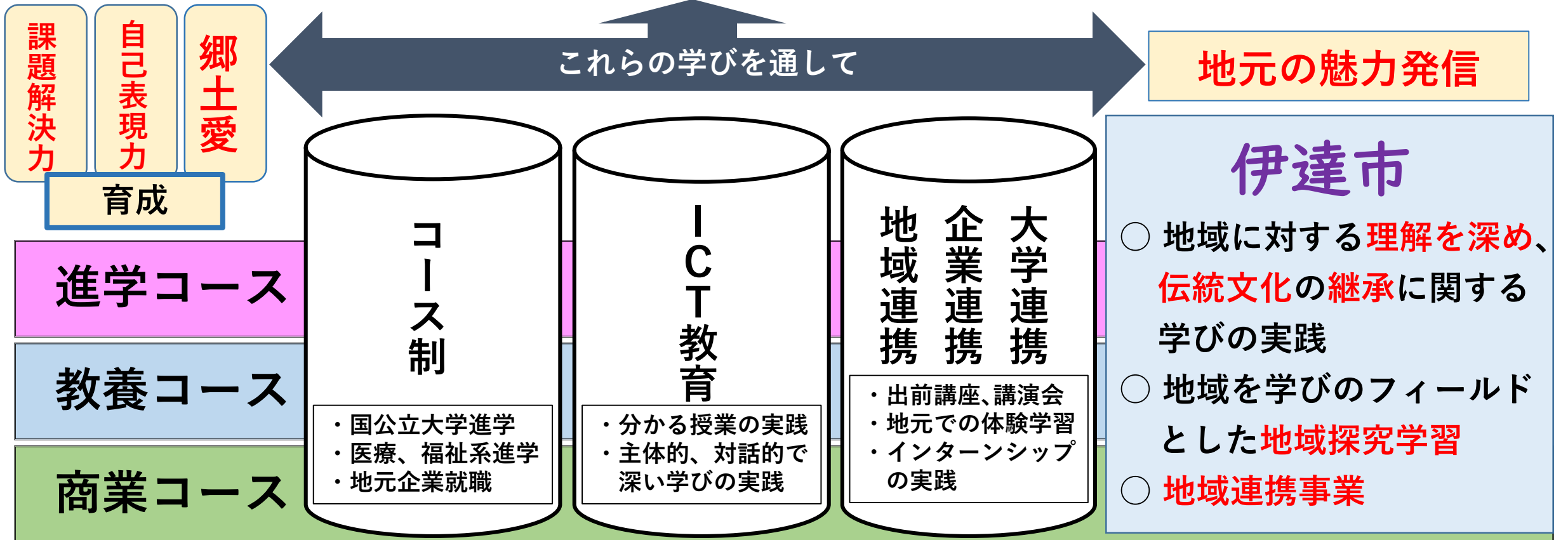
梁川・保原統合高等学校 (仮)

6学級規模 (定員240名) 普通科 場所：保原高校

キャリア指導推進校

大学進学から就職まで、生徒の幅広い進路希望に応えるとともに、地域を学びのフィールドとした探究学習をとおして、地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材を育てる学校

地域を知ること、地域を思い、地域を支える人材育成



3つの柱を支える教育環境の整備

コース制や在校生への手立て、特色化・魅力化について

地域や市町村立学校と連携した活動

1

第2回改革懇談会でいただいた御意見を踏まえた
梁川・保原統合校の方向性について

懇談会でいただいた主な御意見

- 進学、教養、商業の3コースの提案があったが、コース制を機能的に進めることが魅力につながる。名称は分かりやすいものにしてほしい。
- 中学生の段階で進路が決まっている生徒は少ないので、商業コースも含めて幅広い生徒を受け入れるコース設定はありがたい。一方、教養コースの内容が分かりづらい。具体的な検討を進めてほしい。
- 伊達市の子どもたちが、福島市に行かなくても進路実現を図る事ができる学校とすることが重要だ。
- 今まで梁川高校で行っていた手厚い指導ができなくなるのではないかと。

懇談会でいただいた主な御意見

地域や市町村立学校と連携した活動

- 梁川だけ、保原だけではなく、**伊達市を地域として連携**しながら教育活動を展開する必要がある。
- 県立高校と**市町村立学校の垣根を超えた連携**について考えて欲しい。
- 地域を学びのフィールドとすることは素晴らしい。**地域や企業と連携**した取組を取り入れ、**地域理解や課題研究につなげてほしい。**

統合校の魅力を周知させる手立て

- **統合校の魅力をどう分かりやすく周知**するのが大事だ。

コース制について (案)

1 年生	2・3 年生	
<p>コース制について</p> <p>丁寧なガイダンスの実施</p>	<p>地域創生を担う人材の育成</p> <p>進学キャリアコース (仮) (進学コース)</p>	<p>進学指導に重点を置くコース。高い学力と深い探究力を身につけるためのカリキュラムを設定。</p>
	<p>地域の活性化に貢献する人材の育成</p> <p>ビジネスキャリアコース (仮) (商業コース)</p>	<p>地域の即戦力となる人材の育成に対応したコース。保原高校商業科で培った教育プログラムを生かしたカリキュラムを設定。</p>
	<p>地域を支える人材の育成</p> <p>地域キャリアコース (仮) (教養コース)</p>	<p>選択科目を幅広く設けることで生徒の多様な学習ニーズに対応したコース。地域に根ざした探究活動と学力の定着を図るカリキュラムを設定。</p>

各コースのカリキュラムを設定する上で重要なポイント

教科・科目（例）

英 語	コミュニケーション英語(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 英語表現(Ⅰ,Ⅱ)
数 学	数学(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 数学(A,B)
理 科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 物理 化学 生物 地学
地理歴史	世界史(A,B) 日本史(A,B) 地理(A,B)
公 民	現代社会 倫理 政治・経済
国 語	国語総合 現代文(A,B) 古典(A,B)
学校設定科目	基礎総合(仮)
商 業	ビジネス基礎、簿記、情報処理など

各コース独自に科目を設定

総合的な探究の時間

主体的に課題を見つけ
解決する探究活動

新しい時代に必要な力の育成
課題発見力、課題解決力、発想力、
発信力、立ち上がる力、やり抜く力
を育成する。

進学キャリアコース（学力育成型カリキュラム）（案）

学力向上を重視した科目の設定

英語	コミュニケーション英語(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)
	英語表現(Ⅰ,Ⅱ)
数学科	数学(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 数学(A,B)
	物理基礎 化学基礎 生物基礎
	物理 化学 生物 地学
地理歴史	世界史(A,B) 日本史(A,B) 地理(A,B)
公民	現代社会 倫理 政治・経済
国語	国語総合 現代文(A,B) 古典(A,B)
学校設定科目	基礎総合(仮)
商業	ビジネス基礎、簿記、情報処理など

その他の特色

- 大学進学の実現に向けた授業時数の増加
- 様々な大学入試に対応した課外授業の実施
- 進学相談の充実

主な進路先

福島大学、山形大学、県立医科大学、福島学院大学、看護系大学、看護系専門学校等

ビジネスキャリアコース(即戦力育成型カリキュラム) (案)

商業系資格の取得を重視した科目の設定

英 語	コミュニケーション英語(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 英語表現(Ⅰ,Ⅱ)
数 学	数学(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 数学(A,B)
理 科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 物理 化学 生物 地学
地理歴史	世界史(A,B) 日本史(A,B) 地理(A,B)
公 民	現代社会 倫理 政治・経済
国 語	国語総合 現代文(A,B) 古典(A,B)
学校設定科目	基礎総合(仮)
商 業	ビジネス基礎、簿記、情報処理など

その他の特色

- 商業系資格の取得に向けた課外授業の実施
- チームティーチング授業の導入
- 進路相談の充実

主な進路先

公務員就職希望者、就職希望者(事務系)、四年制大学(商、経済・経営) 短期大学(ビジネス系)等

地域キャリアコース(実践力育成型カリキュラム) (案)

学力の定着を重視した科目の設定

英	語	コミュニケーション英語(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 英語表現(Ⅰ,Ⅱ)
数	学	数学(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 数学(A,B)
理	科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 物理 化学 生物 地学
地理歴史		世界史(A,B) 日本史(A,B) 地理(A,B)
公民		現代社会 倫理 政治・経済
国語		国語総合 現代文(A,B) 古典(A,B)
学校設定科目		基礎総合(仮)
商業		ビジネス基礎 簿記 情報処理など

その他の特色

生徒の多様な学びのニーズに対応した幅広い科目の設定

習熟度別授業の導入

進路相談の充実

主な進路先

就職希望者(地元企業等)、公務員就職希望者、短期大学、専門学校

各コースのカリキュラムを設定する上で重要なポイント

総合的な探究の時間

主体的に課題を見つけ
解決する探究活動

新しい時代に必要な力の育成

課題発見力、課題解決力、発想力、発信力
立ち上がる力、やり抜く力

を育成する。

総合的な探究の時間(地域探究活動) (案)

進学キャリアコース

- 大学や伊達市役所と連携した郷土理解学習
- 情報分野、経済分野、看護分野、保育分野を探究

ビジネスキャリアコース

- 伊達市役所との地域探究活動(商品開発)インターンシップ

地域キャリアコース

- 地域理解学習(地域の農家や伊達市役所等からの講義、ワークショップ体験)
- 地域農業(稲作、桃、柿の栽培・収穫、あんぽ柿づくり等)の体験学習
- 地域資源を活用した郊外活動(JAや道の駅等の見学)、インターンシップ



地域課題の共有



テーマ設定

地域課題について自らテーマを決める。

調査⇒研究⇒発表

市役所や大学、地域企業等への訪問

提案

目標

地域の未来を創造する人材の育成

新しい時代に必要な力
地域探究活動を通して、課題発見力、課題解決力、発想力、発信力、立ち上がる力、やり抜く力、起業家精神を育成する。

学校全体の取組

地域連携事業（案）

ボランティア活動

- 地元イベントに参加（スタッフ）
- 自然災害でのボランティア活動
- 介護施設でのボランティア活動

小中学校との連携授業

- 伊達市内の小中学校への出前授業
- 伊達市郷土理解学習

ICT教育（案）

ICT活用の実践

タブレット端末等の先行導入

- 分かる授業の実践
- 主体的、対話的で深い学びの実践
- ICTを活用した動画配信（大学⇒高校）
- ICT機器を使った地域交流



<p>A1 教員による教材の提示</p> <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>B1 個に応じる学習</p> <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>B2 調査活動</p> <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>C1 発表や話し合い</p> <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>C2 協働での意見整理</p> <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
---	--	---	---	---

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の人々と主体的に関わろうとする態度を育成する。

地域の未来を創造する人材の育成

統合校



伊達市

進路

未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を支えるために地域と学校が **パートナーとして連携・協働**を実現する。

新しい時代に**必要な力**を身につけながら、生徒の多様な進路希望を実現する。

コース制

独自のカリキュラム

地域探究活動 地域連携事業

ICT教育

- 進学
キャリアコース
- ビジネス
キャリアコース
- 地域
キャリアコース

進学育成型
カリキュラム

即戦力育成型
カリキュラム

実践力育成型
カリキュラム

- ・ 出前講座、講演会
- ・ 郷土理解学習
- ・ 郷土探究学習
- ・ 地域連携事業
- ・ 体験学習
- ・ ボランティア活動
- ・ インターンシップ
- ・ 商品開発

課題発見力、課題解決力、発想力、発信力、立ち上がる力、やり抜く力、起業家精神の育成

- ・ 分かる授業の実践
- ・ 主体的、対話的で深い学びの実践

- ・ 小中学校との連携事業
- ・ 出前授業の実践
- ・ オンライン地域交流

四年制大学 福島大学、山形大学、県立医科大学、福島学院大学、医療系大学、医療系専門学校等

公務員就職希望者
就職希望者（事務系）
四年制大学（商、経済・経営）
短期大学（ビジネス系）等

就職希望者（地元企業等）
公務員就職希望者
短期大学、専門学校

3つの柱を支える教育の整備

教育環境の整備（Wifi環境）
地域との連携強化

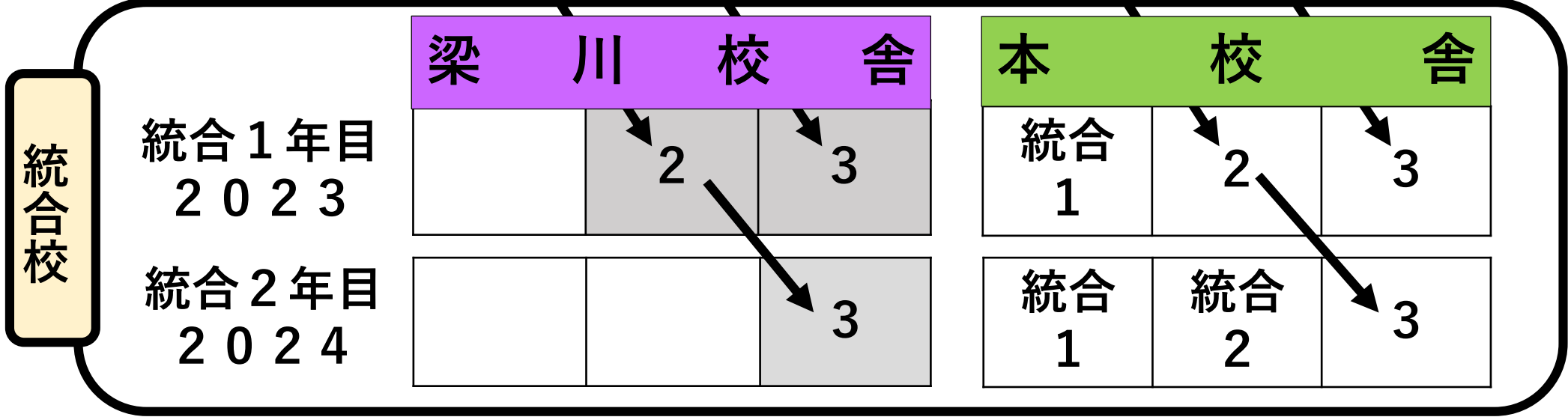
懇談会等でいただいた御意見

- 今まで梁川高校で行っていた手厚い指導ができなくなるのではないか。
- 統合後、環境が大きく変わることによって新しい高校での生活に不安を感じている声がある。

対応方法

「校舎方式」
統合により1つの高校ではあるが、それぞれの高校の校舎をそのまま使用し、生徒が入学した高校の校舎で卒業まで学ぶ方式。
生徒は統合後も、今まで通学した校舎で学ぶことができる。

「校舎方式」のイメージ



統合2年目まで、2つの校舎を使用。入学したそれぞれの校舎で卒業まで学ぶことができる。

メリット

生徒は、卒業まで梁川校舎において安心して今まで通りの環境で活動することができる。

一体感

学校行事や部活動については、統合校としての一体感を醸成するため、合同での実施を検討。

2

統合校の魅力を周知する方法について

統合校の魅力を周知させる手立て

統合校に係る説明スケジュール（案）

2020年度 (令和2年度)						2021年度 (令和3年度)									2022年度 (令和4年度)									2023年度 (令和5年度)	
7	8	9	10	...	3	6	7	8	9	10	11	12	...	3	4	5	6	7	8	9	10	...	2	3	4
						<p style="text-align: center;">説明会</p> <p style="text-align: center;">中学2年生対象 保護者対象 中学教員対象</p>									<p style="text-align: center;">ポスターパンフレットの配付</p> <p style="text-align: center;">統合校体験入学</p> <p style="text-align: center;">中学校への 高校説明会 (中学3年生対象)</p>									<p style="text-align: center;">統合校 入学者選抜</p>	
<p style="text-align: center;">中学校への 高校説明会 (中学3年生対象)</p> <p style="text-align: center;">統合時、高校3年生</p>						<p style="text-align: center;">中学校への 高校説明会 (中学3年生対象)</p> <p style="text-align: center;">統合時、高校2年</p>									<p style="text-align: center;">統合時、高校1年生</p>									<p style="text-align: center;">統合校 開校式 入学式</p>	
						<p style="text-align: center;">統合校の校名の検討・決定</p>									<p style="text-align: center;">統合校の制服の検討・決定 統合校の校章の検討・決定 統合校の校歌の検討・決定</p>										